

キリスト教全人格教育方針

2014年1月14日

教授会承認

2014年1月21日

理事会承認

本学は、「理念とミッション」において、「キリスト教世界観にもとづく教養と倫理観、隣人愛、社会に対する広い使命・貢献意識を備えた教会と社会のリーダーの育成」を行うと定めている。そのために本学は、霊性の涵養・品性の練達・社会性の涵養の機会を、チャペル、カリキュラム、寮教育を重要な手段として提供する。

- 1 本学のチャペルは、ともに主なる神を礼拝し、聖書にもとづいて「キリストがすべて」（コロサイ 3:11）という理念に立つ建学の精神を伝達することで、キリストにある霊性の涵養と「全人格的陶冶」をはかる。またキャリア教育的配慮をもって、学生がそれぞれの賜物を用いて教会と社会に仕える心を養うことを目指す。
- 2 本学のカリキュラムは、学生の霊性の涵養を図るプログラムを有するとともに、教会と社会における神学の実践をとおして学生のキリストにある品性と社会性を身に着けることを目指す。その一環として、「学生と教職員の人格的交流を豊かにする『少人数教育』（「理念とミッション」）を行う。
- 3 本学の寮教育は、「神学の学びを教場における営みにとどまらず、生活全域に及ぶものとして実践し、教会に与えられた世界宣教の使命を担う奉仕者として整え」ることを目的とする。そのためには、「キリスト者の自由をもって共に生きる」（「理念とミッション」）寮を実現し、「文化、国籍、性、年齢などの違いがもたらす『隔ての壁』を打ち壊すキリストの福音（神学）」を体現し、「和解と一致」をもたらすことのできる人材の養成を目指す。